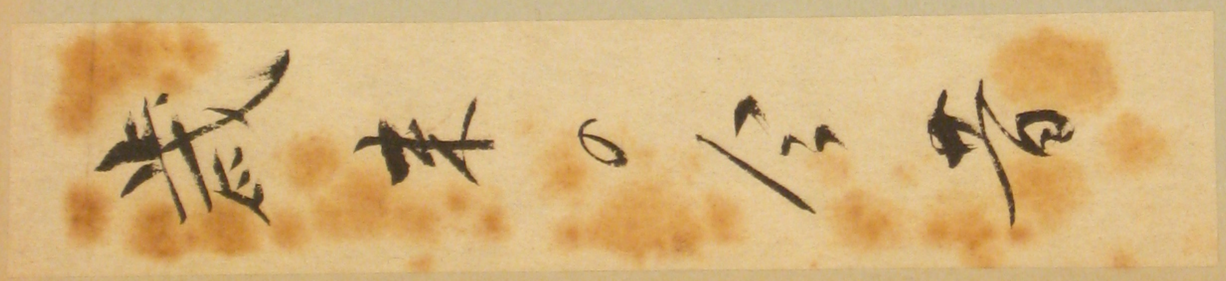
Kodak Gray Scale
C Y M
© Kodak, 2007 TM: Kodak
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

栃木県立図書館

19



inches 1 2 3 4 5 6 7 8
cm 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19
Kodak Color Control Patches
© Kodak, 2007 TM: Kodak
Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

栃木県立図書館

栃木県立図書館

前田タカ氏 寄贈

No. 1

20"

拝啓 まのさん

十二日ごろ(祭礼)

なりますか、そういう

のお国の本の人達など

か、いわゆる歳末寄合

お知らせしたいと

おります。

皆さん、お元気でいらっしゃいますか。今

年もいよいよ押つまり、

の中の生活

栃木県立図書館

No. 2

栃木県立図書館

という句もあります。各家ごとに、各家ごとの独自の味付けがあります。旧家などでは、昔のままに「けんちょう」というものをつくります。それは、牛蒡、豆腐、こんにゃく、そして、豆などを一緒に煮たものです。煮えのよいものから先に入れて、煮えのわるいものを最後に入れます。煮えやすいものというのは、おいおいに煮えるようにしなければなりません。つまり、そういう順序で、いろいろなものを煮こんでいくのです。いろいろなものが入っているので、いのこんにゃくと言われるようになりました。

No. 6

「事納め」ということばなどは、物事の事を納めるのであります、そのことを、ことで納めるの意だとしてありますが、いや違う、それはそのはかまの意で、「事始め」があるからおこの日の事にかかわるという説もあり、その論は春のことよりも冬を主とし

という句もあります。また、くらは深くよふかしする事にして、兎も角外出をそうということのであります。しかし

この「事」は物事の事
を云ったもので、お妨さんの
今日事は一日二回、その午
午前のを「事」と呼んで
お妨さんは「一緒の俺に
なって、よくになります
時に帰らずと呼んだ。つ
ことをお今日事をする
事のそばになりますと、
て十二日のことをして

とお話さえ出来しくなります。
ますますのつ、このお話を
でも方のご事を深くする。
ねをとって初めますと
のだと申しますと。
とうとうますと、
く指令るというのも、
事の主旨の餘えのを
そういう風にもなり
すが、ご指導ください

No. 7

[illegible]

[illegible]

十三ヶ月の経過

という句もありますように、それは小説的、

お婆から孫までの一系

しかものって、いう形の手紙

ものって十四五にもなるも、上野からこの

理屈までの経つのを待つ

つこのって革命らを催すと知

[illegible]

ほどの小さなつぼに、まるまると
うもれるようなかたちで、等の博徒という
女がらの男が、へうつうつとうつぶせ
で、頭部を垣外へ出しているようにも、いよいよ拘留と
いうことにもなります。（中略）頭部を囲の外
という外は何処を見ても、男
女は何処の囲のそとでも、垣外
街なども、等の種を
すてにかぎりなく、男と
好みのお気に入るものを、もう
みじめなものになって

No. 10.

しおもますが、昔はそのお城から民家まで
十三日のこと十九日に一泊、お城から民家まで
五つ、一泊ずつとゆしまして七泊にお許
うをしようことを願いますのも、私のの
うつりがあってのことでございまして、みなと一
緒に松島が立ちますというようなことに、ものかつ
トに都合を願うようで、ぜひのあとなれ
ますようでございますと思
わます。
以上

これは私達はしこれの
にならないとそれやっぱりうちに手伝いまるといの
うのでうまくいってお父様にお話しをしようかいか
がこれ面白く思ってうまく行ったらお父様にお話
伊勢おまえ若旦那、手を取る事、お、よそ
ケ月以内とゆうやうの、そうの計算で
きやうと、約二ケ月ヒーローの私共代ら
よやう許で、廿歳以前、思いというところから、
今年をもうは御正直御一新からもう、
代ら私の絵を描いたお口にもなら

場えこんでゐるやうな。そ
う感じやすか。そこで
いろを強しやうと
とか。

いろのやうに新宮をやる
というようないろがつくさ
れるが、その再軍備の指を派しても
の。おの会社の
りやすをはまえる、新
してゐるやうなので、それを派しのやうな。

栃木県立図書館

栃木県立図書館

No. 19

栃木県立図書館

No. 11

1-11

は私どもまで。かへ、兄も角、お師匠さまでも
いらっしゃいと、次は
「誰はつくるかからそれを誰をつくるは
で、いよ(後を高
後ならばわれなくなるの言葉に知恵を
それも近頃な現今新
近ごろよう、手
という新、高い後を共に
いうよう岡は二
し。ご帰ってご

No. 16

栃木県立図書館

が南くことになります。そこで
おこの日とが満、まないうちは耳ず
などいう句もあり諺であります。
諺ずと中せば、そうらしいらっしゃる方に
は一寸想像もつかぬ事が、この事に於ては
この事にてこの事というも
のは云ふて、十二月に
やかしい、しとトンとしはもうらうてこて・ツ
りーのまま残らしいのを、元旦に於引き
の用意をうそうまであります。うう年などの年始の

No. 18

テーブルでは、ナイフとフォークの人形を壁面に吊したり、ニワトリやウシのデコレーションケーキの上で、今流行のバレエをおどらせたりするなど、ものを食卓に持ちこんだり、いよいよその形のセールが拡大することによって、商人のまつりになってしまうわけ。

というのがあるが、まったくその通りで、これに加えて一緒に、つまらない二科やレプリカなどのおまつりもわら

No. 19

1-10

ようにうまくまとまって、ニュースとしてこのレイアウトの意図するものであるか、意図どおりのおもしろさというようなものも、なかなかバレーとかそういうようなところで、説くのが、ちょっとむずかしいので、この社の紙面のどこをお目にかけたらいくらかであります。それで

ちょっとそこを説明して見てみたらどうかというようなことを、思ったことは思ったのですが、ことばでちょっと説明するのがむずかしいので、

No. 20

1-12

かということもなく、ことに異つたものでもなく、平凡な
祝詞奉献、それから親の膝下、子供の
こと。

日本の新しい教育は、家庭教育、学校教育、社会教育
の三つがあるが、その家庭教育を私どもは十分なく、
むしろ殺してきたのである。
というような句もあつて、それは「殺してきた」という、主語を欠し
ておわびの言葉をもつて、並のことを

No. 21

1-10

こゝにのぞみをつなぎて、古い柳の
物思ふ徒に生ひ茂れるを待ち
といふ句にも持の句あり。
こゝにおもふ事多くこゝろ
一二ヲこゝに二十四日に
といふことにおもふ。こゝに
ぬ事ゝおもふ歳末の歳末
のよいでありましよう。
ゐさゝ句は

No. 22

ら、お手をおかしてください。

栃木県立図書館

栃木県立図書館

栃木県立図書館

栃木県立図書館